

論文募集

第2回 インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2009)

- 仮想化時代のインターネットと運用技術 -

<http://iot.ipsj.or.jp/iots/2009>

日程：平成 21 年 12 月 10 日 (木) ～ 12 月 11 日 (金)

会場：エルフ金沢 (石川県金沢市)

主催：情報処理学会 インターネットと運用技術(IOT)研究会

開催主旨

インターネットに代表されるコンピュータネットワークに基づいた分散システムの重要性は近年ますます高まっており、ネットワーク及び分散システムの管理・運用に対する要求や、解決すべき課題は広範囲にわたってきています。

その中で、近年は様々な仮想化技術が注目を集めています。ハードウェアの仮想化、ストレージの仮想化、アプリケーションの仮想化等の技術を用いることで、リソースの効率化や柔軟な運用を行うことが可能になりました。しかし、このような仮想化技術を用いてシステムを実現し、運用するためには、以前とは異なる管理・運用技術が要求されます。

このような状況を踏まえて、本シンポジウムでは様々な仮想化に関する技術の動向と、それに伴う構築運用上の課題を整理して議論し、今後の展開と高度化に寄与することを目指します。

論文募集分野

対象分野を以下のように予定していますので、応募時の参考として下さい。なお、必ずしもこれに限定されるものではありません。また、学術的な研究論文に限らず、事例報告や問題提起などの論文も歓迎します。

- (1) 仮想化システムの運用管理技術
- (2) クラウド・コンピューティングを支える仮想化技術
- (3) P2P, GRID, ファイル共有など資源共有技術
- (4) LAN 管理技術, 管理システム
- (5) トラフィック解析, 負荷分散技術, IX 運用技術
- (6) 新しい計算機システムの構築運用技術

投稿方法

事務処理簡素化のため、電子的な投稿のみ受け付けます。論文(シングルスペース, 2 カラム, A4 判用紙 8 頁以内)を PDF 形式で作成し, 以下の投稿用 URL にて発表申込みおよび論文投稿をお願いします。

<http://iot.ipsj.or.jp/iots/2009/submit>

原稿の様式は研究報告原稿の様式に準じます。下記 URL をご参照下さい。

<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/genko.html>

スケジュール

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 論文応募締切 | 平成 21 年 8 月 31 日 (月) 23:59 |
| (2) 採否通知 | 平成 21 年 9 月 30 日 (水) (予定) |
| (3) カメラレディ最終論文提出締切 | 平成 21 年 10 月 30 日 (金) (予定) |

※ システムの制限により, 締切後の論文応募は受け付けられません。

表彰

本シンポジウムでは, 優秀な発表に対する表彰制度を設けております。詳細につきましては, シンポジウムホームページでご案内いたします。

照会先

論文投稿に関する照会先

E-mail: iots2009@ml.iot.ipsj.or.jp

その他に関する照会先

(社)情報処理学会 シンポジウム係

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: sig@ipsj.or.jp TEL: 03-3518-8372 FAX: 03-3518-8375

参加費 (論文集代込み)

正会員:	10,000 円	研究会登録会員:	7,000 円	学生会員:	無料
学生非会員:	2,000 円	非会員:	15,000 円		

プログラム委員会

委員長: 敷田 幹文 (北陸先端科学技術大学院大学)

委員(50 音順): 相原 玲二 (広島大学), 齊藤 明紀 (鳥取環境大学), 鈴木 聡 (KEK),

中村 素典 (NII), 萩原 威志 (新潟大学), 藤崎 智宏 (NTT), 宮地 利雄 (JPCERT/CC),

山井 成良 (岡山大学), 吉田 和幸 (大分大学)

実行委員会

委員長: 大野 浩之 (金沢大学)

委員(50 音順): 安東 孝二 (東京大学), 石島 悌 (大阪府立産業技術総合研究所),

坂下 秀 (アクタスソフトウェア), 宮下 健輔 (京都女子大学), 村上 登志男 (学習院大学)